第33号様式（第76条関係）

作成例

自動車排出ガス対策実施措置報告書

令和○○年○○月○○日

香 川 県 知 事 殿

報告者 〒○○○-○○○

住所 ○○○○○○○○○○○○○○○○

株式会社 ○○○○

氏名 代表取締役 ○○○○

（法人にあっては、その名称及び代表者氏名）

香川県生活環境の保全に関する条例第106条第5項の規定により、自動車排出ガス対策計画に基づいて実施した措置について、次のとおり報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| 主たる事業所の名称 | 株式会社 ○○○○ 高松本社 |
| 主たる事業所の所在地 | ○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| 自動車排出ガス対策計画に基づいて実施した措置 | 別紙のとおり |
| 実施した措置の公表予定年月日 | 20X1年○○月○○日 |
| 実施した措置の公表の方法 | 弊社ホームページに掲載し、インターネット利用により公表する。 |
| 連絡先 | 担当部署 ○○○○部○○○○課○○○○グループ担当者 ○○ ○○電話番号 ○○○－○○○－○○○○ＦＡＸ番号 ○○○－○○○－○○○○電子メールアドレス ○○○○○○○○○○○○○ |

備考 　 用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列4番とすること。

自動車排出ガス対策計画に基づいて実施した措置

|  |  |
| --- | --- |
| 計画の対象期間 | 20X1年4月1日～20X4年3月31日 |
| 本報告の対象期間 | 20X1年4月1日～20X2年3月31日 |

１ 事業所ごとの自動車の使用台数

（20X1年3月31日現在）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 整理番号 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
| 事業所の名称 | 本社 | 丸亀営業所 | 観音寺営業所 | － |
| 事業所の所在地 | 高松市○○町○-○-○ | 丸亀市○○町○-○-○ | 観音寺市○○町○-○-○ | － |
| 連絡先電話番号 | 087-○○○-○○○○ | 0877-○○-○○○○ | 0875-○○-○○○○ | － |
| 従業員数 （人） | 40 | 30 | 30 | 100 |
| 運転者数 （人） | 30 | 17 | 15 | 62 |
| 使用台数 （台） | ①普通貨物自動車 | 10 | 5 | 4 | 19 |
| ②小型貨物自動車 | 3 | 2 | 1 | 6 |
| ③大型バス(定員30人以上) | 2 |  |  | 2 |
| ④マイクロバス(定員11人以上30人未満) | 1 | 2 |  | 3 |
| ⑤乗用自動車 | 14 | 10 | 10 | 34 |
| ⑥特種自動車 |  |  |  | 0 |
| 合計台数 | 30 | 19 | 15 | 64 |

自動車の使用に伴う二酸化炭素の年間排出量 　（20X0年度）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年間の燃料使用量 | ガソリン | 軽油 | 都市ガス (ＣＮＧ)  | ＬＰＧ |
| （kL） | 台数 | （kL） | 台数 | （千㎥） | 台数 | （ｔ） | 台数 |
|  | 本社 | 38.0 | 14 | 56.0 | 15 | 5.0 | 1 |  |  |
|  | 丸亀営業所 | 24.0 | 10 | 28.0 | 8 | 3.0 | 1 |  |  |
|  | 観音寺営業所 | 19.0 | 10 | 19.0 | 5 | 0 | 0 |  |  |
|  | 合 計 [ａ] | 81.0 | 34 | 103.0 | 28 | 8.0 | 2 |  |  |
| 二酸化炭素排出係数 [ｂ] | 2.290 t-CO2/kL | 2.619 t-CO2/kL | 2.050 t-CO2/千㎥ | 2.994 t-CO2/t |
| 二酸化炭素排出量 [ａ×ｂ] | 185.5 t-CO2 | 269.8 t-CO2 | 16.4 t-CO2 | 0 t-CO2 |
| 二酸化炭素排出量の合計 | 471.6 t-CO2 [ 対基準年度（20XX年度）比 ： 95.7 ％ ] |

２ 低公害車等の導入実績

（20X1年度分）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 自動車区分 | 本社 | 丸亀営業所 | 観音寺営業所 | 合計 | 計画台数 |
| 減少台数 | 増加台数 | 減少台数 | 増加台数 | 減少台数 | 増加台数 | 保有台数 | 保有台数 |
| 保有台数 | 保有台数 | 保有台数 |
| 総自動車台数（低公害車等を含む） | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 64 | 63 |
| 30 | 19 | 15 |
| 低公害車等の台数 | ① 天然ガス自動車 |  |  |  | 1 |  |  | 2 | 2 |
| 1 | 1 |  |
| ② 電気自動車 |  |  |  |  |  |  | 0 | 0 |
|  |  |  |
| ③ ハイブリッド自動車 |  |  |  |  |  | 1 | 3 | 3 |
| 1 | 1 | 1 |
| ④ メタノール自動車 |  |  |  |  |  |  | 0 | 0 |
|  |  |  |
| ⑤ 低燃費かつ低排出ガス認定車 |  | 2 |  | 1 |  | 1 | 14 | 13 |
| 7 | 4 | 3 |
| ⑥ その他の排出ガスの排出量が少ない自動車（ ） |  |  |  |  |  |  | 0 | 0 |
|  |  |  |
| 合計 （①～⑥） |  | 2 |  | 2 |  | 2 | 19 | 18 |
| 9 | 6 | 4 |
| 排出ガス低減装置装着車の台数 |  |  |  |  |  | 1 | 6 | 6 |
| 3 | 1 | 2 |
| ≪参考≫軽自動車（二輪除く）の台数 | 1 | 2 | 1 | 1 |  |  | 31 | 30 |
| 15 | 8 | 8 |

３ 自動車の使用抑制、並びに適正な整備及び運転の実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項 目 | 計 画 | 実 績 |
| 自動車の使用抑制 | ⦁ 運送業者による輸送を一部導入し、自家用貨物自動車による輸送からの転換を図る。⦁ 最大積載量で運行できるよう、車種構成を改善し、荷の量に合った適切な車両を使用する。 | ⦁ 運送業者による輸送を一部導入し、自家用貨物自動車による輸送からの転換を図った。⦁ 最大積載量で運行できるよう、車種構成を改善し、荷の量に合った適切な車両を使用した。 |
| 自動車の適正な整備 | ⦁ 日常点検・整備マニュアルを作成し、エンジンオイルの適正な選択・定期的な交換、適正なタイヤ空気圧の維持など、十分な点検整備の方法を定めて従業員に周知する。⦁ 管理責任者を設置し、運転日報をチェックすることにより、点検整備の実施を徹底する。 | ⦁ 日常点検・整備マニュアルを作成し、○年○月○日のエコドライブ講習会で従業員に周知した。⦁ 管理責任者を設置し、運転日報をチェックしており、適正な点検整備が行われていることを確認した。 |
| 自動車の適正な運転 | ⦁ 毎年1回、従業員に対してエコドライブの講習を行い、アイドリングストップ、急発進・急加速運転の削減など、エコドライブの実施に努める。 | ⦁ ○年○月○日に従業員に対してエコドライブ講習会を実施した。2020年度は、特に次の事項を重点実践事項とし、各部署に張り紙をして取り組みを促進した。〔重点実践事項〕・おだやかな発進と加速・定速走行・経済速度の励行・エンジンブレーキの積極的な使用・アイドリングストップの徹底⦁ 駐車場の2ヵ所にアイドリングストップの看板を設置し、啓発を行っている。 |